

2026年1月6日
東海電子株式会社

呼気吹き込み式アルコール・インターロック装置 2025年度出荷実績

累計出荷実績 3500台超、そして増えつつある個人装着ケース。

自動点呼システム、運行管理システム、安全運転管理システム、労働安全衛生システムを開発・販売する東海電子株式会社(本社：静岡県富士市 代表取締役 杉本哲也)は、この度、運転前にアルコールチェックを行い、検知されるとエンジンがかからない車載型飲酒運転防止システム『呼気吹き込み式アルコール・インターロック装置』の2025年度の実績と普及状況(2025年12月31日時点)をお知らせ致します。

1) 2024年時点のトラック業界における飲酒運転実態

2011年5月1日、点呼におけるアルコール検知器の使用の義務化が施行されてから10年が経過しました。現在、法令上、トラック、バス、タクシー等8万を超える運輸・交通事業者は、必ず、アルコール検知器を設備として事業所に備え、点呼時の酒気帯び確認時に、これを使用しなければなりません(別紙1)。また、遠隔地での電話点呼においても、アルコール検知器を使用しなければならないとされており、アルコール・インターロックは特に、「自動車に設置されているアルコール検知器を使用させる」機器として明確に位置づけられています(別紙2-1,2-2)。

このように、アルコール検知器の義務化とは、いかなる点呼においても必ずアルコール検知器が使われており、点呼が100%実施されていれば、誰一人として酒気を帯びたドライバーは路上には存在しない、まさに「飲酒運転ゼロ」を目指した規制強化がありました。

2) トラック業界における飲酒実態

ところが、アルコール検知器義務付けが行われたものの、翌年以降、例えばトラックについては、ゼロに向かうどころか、半減にすらいたっていません。前年比増という年もみられました(別紙3)。特に、2019年に国土交通省、運輸安全委員会から公表された事故調査報告書によって、フェリー使用時のトラックドライバーのおそるべき飲酒実態が明らかとなり、「隠れた飲酒文化」に業界および社会が驚愕しました。

□2019年7月 大型トラクタ・バンセミトレーラの衝突事故(飲酒運転死亡事故)

<https://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/jikochousa/pdf/1783102.pdf>

□2020年11月 ロールオン・ロールオフ貨物船ちゅらしま作業員死亡事故(飲酒起因)

https://www.mlit.go.jp/jtsb/ship/rep-acci/2020/MA2020-11-1_2019tk0028.pdf

また、2024年5月に群馬県伊勢崎市で起きた3名の死者が出たトラック事故。捜査の結果8月に飲酒運転であることが判明しました。1999年の東名高速事故から25年経ち、まったく同様・同質の事故が起きたことに社会が騒然としました(この事件の詳細、実態はまだ不明である)。

3) 安全運転管理者選任事業所のアルコール検知器使用義務付け

2021年6月28日、千葉県で、悲痛な飲酒運転死亡事故が起きました。加害側が「白ナンバートラック」であったことから、警察庁・公安委員会は、再発防止のため、安全運転管理者選任事業所に対し、アルコール検知器使用を義務付ける道交法施行規則の改正を行い、このなかで、アルコール・インターロック等、車載タイプも、アルコール検知器の一種であるとされました。(別紙4)

4) 呼気吹き込み式アルコール・インターロックの出荷実績

当社は、2009年9月から、運転前に呼気検査を行いアルコールが検知されるとエンジンがかからない飲酒運転防止システム「呼気吹き込み式アルコール・インターロック」を販売しています。現在、アルコール検知器は多種多様なものがありますが、「運転前に必ず呼気をチェックし記録を残し、検知したらクルマが動かない」、このような強制力のある検知器は、アルコール・インターロック装置だけです(別紙5)。

このように、他の検知器とは違う飲酒運転抑止力を持つアルコール・インターロック装置(製品名:ALC-ZERO)ですが、千葉県八街市の悲痛な飲酒運転事故や、その後に続く白ナンバーアルコール検知器義務化の道交法施行規則改正にともない、あらためて注目されつつあります。

【呼気吹き込み式アルコール・インターロック装置 システムイメージ】



運転データ分析画面

ALC-ZERO

検索条件

車両 運転者 営業所
ログインID: COM3 ログイン名: 0

測定/ハーディング コトローラ
検索開始日: 2012年9月17日 検索終了日: 2012年10月16日

検索実行

ワンボタン抽出

検索結果

未完結のデータを検索する

※運転者IDの検索は、測定結果またはQRコード撮影した時のIDで検索します

検索実行

検索画面(発生単位)の編集を反映します
検索画面から再読み込み時刻が切り替わる場合があります
発生単位の保存期限が切れた情報は破棄されます

測定写真 運転写真

検索結果

全件表示

アルコールロック

オーバーライド

検索

ハンディ取込

コトローラ取込

SDカード取込

取込履歴確認

入出力

設定

運転者登録

車両登録

営業所登録

終了

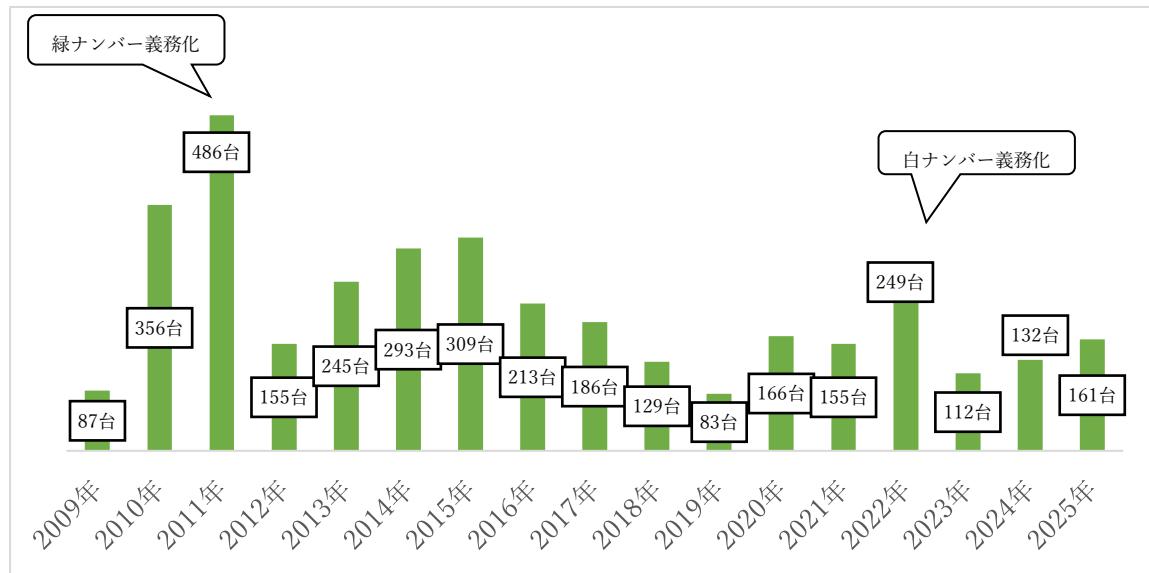
DBの最適化に失敗しました。既に存在するファイルを作成することはできません。

ログ車両編集 ログ運転者編集 ステータス変更

帳票出力 GSV出力 未確認 確認済 要確認 テスト

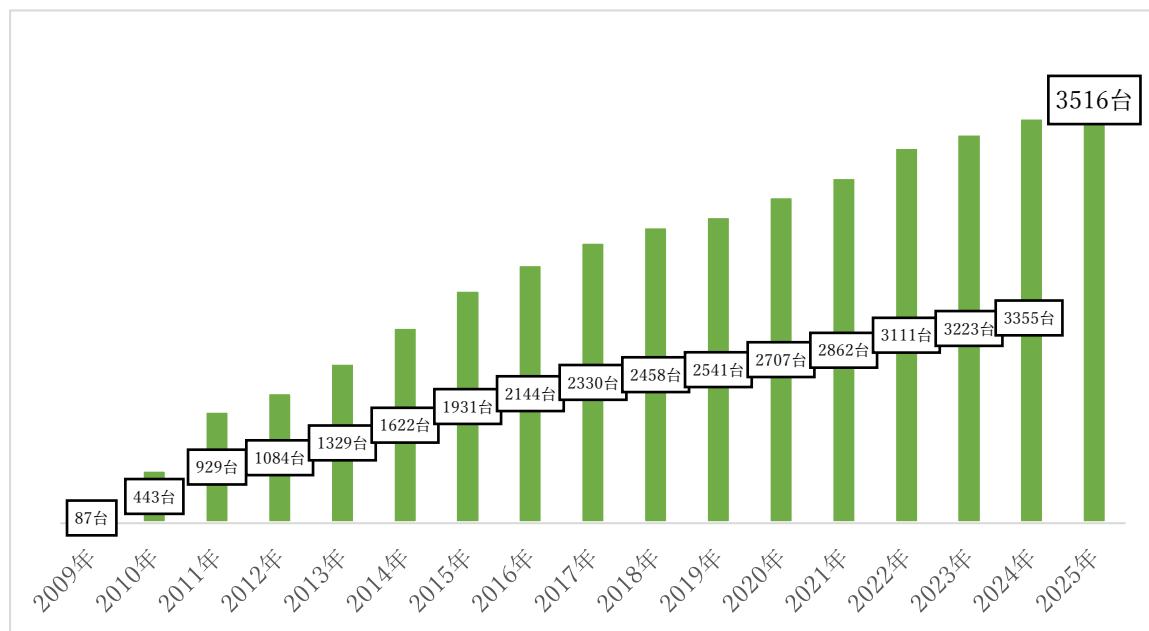
INDEX	車両ID	車両名	運転ID	運転者名	測定値	測定/解除時間	運転終了時間	運転撮影	測定ハンドル	コトローラ	詳細	特記事項
903	1001	ゴルフ	1001	杉本哲也	0.000	2012/10/07 17:38:50	2012/10/07 18:21:36	2回	022222	9000005	⇒	
904	1001	ゴルフ	1001	杉本哲也	0.000	2012/10/07 18:49:01	2012/10/07 19:18:45	022222	9000005	⇒	最長停車	
905	1001	ゴルフ	1001	杉本哲也	0.000	2012/10/07 22:04:14	2012/10/07 22:11:20	1回	022222	9000005	⇒	
906	1001	ゴルフ	1001	杉本哲也	0.000	2012/10/08 00:17:18	2012/10/08 00:37:23	2回	022222	9000005	⇒	最長停車
912	1001	ゴルフ	1001	杉本哲也	0.000	2012/10/08 22:45:08	2012/10/08 23:25:00	1回	022222	9000005	⇒	
913	1001	ゴルフ	1001	杉本哲也	0.000	2012/10/09 06:53:14	2012/10/09 07:10:18	2回	022222	9000005	⇒	
914	0	未登録	1001	杉本哲也	0.000	2012/10/09 20:24:09	2012/10/09 21:10:19	2回	022222	9000005	⇒	最長停車
915	0	未登録	1001	杉本哲也	0.000	2012/10/10 04:54:08	2012/10/10 05:24:52	1回	022222	9000005	⇒	最長停車
916	0	未登録	1001	杉本哲也	0.000	2012/10/10 21:21:23	2012/10/10 21:58:09	1回	022222	9000005	⇒	
917	0	未登録	1001	杉本哲也	0.000	2012/10/11 04:24:42	2012/10/11 05:28:45	2回	022222	9000005	⇒	最長停車
919	0	未登録	1001	杉本哲也	0.000	2012/10/11 06:25:17	2012/10/11 06:25:52	022222	9000005	⇒	運転無し	

【アルコール・インターロック装置 年度ごと実績】



2011年に緑ナンバー、2022年に白ナンバー、ともに事業者へのアルコール検知器使用義務化の影響を受け台数を伸ばした年がありましたが、ここ3年は一定のニーズはありながらも、200台以下とやや低調な実績となっています。本来、「飲酒運転検挙者」向けの機器であるがゆえ、事業者向け市場においては、多彩なアルコール検知器の中でその存在が埋もれている格好と言えます。

【アルコール・インターロック装置 累計】



16年で累計（1月～12月起算）は3500台を超えました。

5) トラック協会の助成制度

全日本トラック協会においても、トラック業界での飲酒運転ゼロを目指し、このアルコール・インターロック機器を、例年、購入補助の助成金の対象としています。令和7年度も助成対象になっています。

<https://jta.or.jp/member/shien/anzen2025.html>

また、各県ごとのトラック協会でも、独自でアルコール・インターロック装置への助成制度を設けているところがあります。

<2024年度各都道府県トラック協会助成金情報 2025年12月26日東海電子集計版>

<https://www.tokai-denshi.co.jp/uploads/pdfs/20251226/694dd71de38b8.pdf>

加えて現在呼気アルコール・インターロック装置は正式に「ASV補助金」の対象となっています。

<先進安全自動車（ASV）の導入に対する支援（令和7年度）>

https://www.mlit.go.jp/jidoshsha/anzen/01asv/esc_07.html

6) アルコール・インターロック、日本以外の状況

海外では商用車よりも、「飲酒運転違反者への罰則として、アルコール・インターロック装置を強制的に装着させる」方式が一般的です。米国では、未だに「毎年30万人」があらたにインターロック装置をさせられているほど、一般ドライバーによる飲酒運転が多い状態です。

【アルコール・インターロック装着レポート2021年】

<https://tirf.ca/projects/tirf-usa-ignition-interlock-installation-reports-united-states/>

欧州でも近年、EUの交通安全ビジョンのうち、EU加盟国へ、アルコール・インターロック装着を促す政策が促されている状況です。

【欧州におけるアルコール・インターロック法制化状況】

<https://etsc.eu/issues/drink-driving/alcohol-interlock-barometer/>

また、近年、韓国や台湾においても、アルコール・インターロックの導入が検討されているとの報道が一部あり、飲酒運転ゼロを実現する国際的な趨勢が注目されています。

【台湾 アジア初アルコールインターロック法規制】

<https://transport-safety.jp/archives/932>

7) 日本国政府（内閣府 中央交通安全対策会議）への提言

前述の2019年7月のトラックドライバーによる飲酒運転事故の調査報告書において

『(2) アルコール・インターロック装置

近年、運転者の飲酒運転を未然に防ぐための装置として、呼気吹き込み式アルコール・インターロック装置の技術開発が進んでおり、このような装置が装備されれば、本事故においても、運転者の呼気中のアルコール濃度などを計測し、エンジンの始動ができなくなることで、事故の発生を未然に防止できた可能性が考えられる。自動車メーカー、機器メーカー、国土交通省等の関係者においては、この種のシステムの確立等、予防安全対策装置の開発・普及に取り組む必要がある』とある。

また、本年6月28日の千葉県の飲酒運転死亡事故を受けて、千葉県知事が政府に対し、

「アルコール・インターロック装置や事故の回避及び被害の軽減が可能な 安全運転支援装置の普及に向けた取組の推進」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/seikouan/press/2021/documents/r30701youbusyo.pdf>

と要望をあげています。

欧米のアルコール・インターロック装置の装着事例を鑑み、当社として、警察庁・公安委員会・国土交通省に対して、以下を提言したい。

1. 警察庁運転免許局および各都道府県公安委員会は、飲酒運転をした者に対し、運転免許停止後も運転の意思があり、自己車両所有者である場合、アルコール・インターロック装着を命ずることができる。また、事業用自動車による飲酒運転事案の場合、運輸支局長は、事業者に対し全車両のアルコール・インターロック装着を命ずることができる。
2. 装置装着を命ぜられた個人および事業者は、期間中、全車両のインターロックデータを1ヶ月ごとに運輸局に提出し続けなければならない。2年間装着されたアルコール・インターロックのメモリに、酒気帯び検知の履歴なきことを条件として、アルコール・インターロック装置の装着を解除する。
3. アルコール・インターロックの装着費用は、行政罰とみなし、本人や事業者の自己負担とする。
4. すべての飲酒運転違反者に対し、AUDITを実施し、かつ、アルコールに関する研修受講を義務づける。

当社は、年間2万人いる飲酒運転者へのアルコール・インターロック装着は、法制化されるべきと考えています。また、プロドライバーの飲酒運転ゼロの実現なくして、年間2万件以上もある日本的一般ドライバーによる飲酒運転ゼロ実現は不可能であるとも考えています。運輸行政は、決して、悪意ある市井の飲酒運転者に、「プロドライバーでさえ飲酒運転している」と言わせない政策を実現すべきである。

事業用車両のドライバーと企業には上記施策、飲酒運転の違反者（一般ドライバー）に対しては、世界では普通となりつつある行政罰としてのアルコールインターロック装着規則を、第12次交通安全基本計画に盛り込むべきと考える。

8) 家族が飲酒運転をして困っている方へ

当社はアルコール・インターロックの社会実装を目指しています。社会実装とはすなわち、警察行政や運輸行政によるアルコール・インターロックの（補助金ではなく）、使用の義務化です。特に、飲酒運転違反者への強制装着が望まれますが、一方で、飲酒運転で捕まらずに日常的に飲酒運転を繰り返してしまう「個人」もいます。

当社は2022年に、家庭・家族問題としての飲酒運転防止活動として、個人へのアルコール・インターロック装着を受け付ける専用ウェブサイトを開設しました。

アルコール・インターロック 社会実装と個人装着を推進する

特設サイト

アルコール・インターロック.com

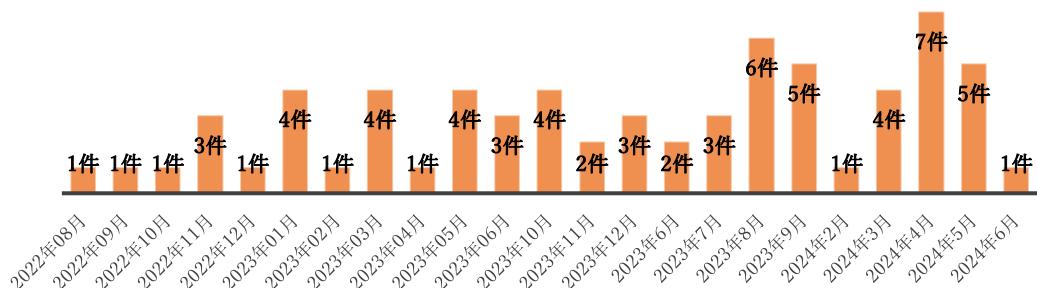
～飲酒運転加害者をゼロに～

飲酒したんだったら運転しなければいいのに。

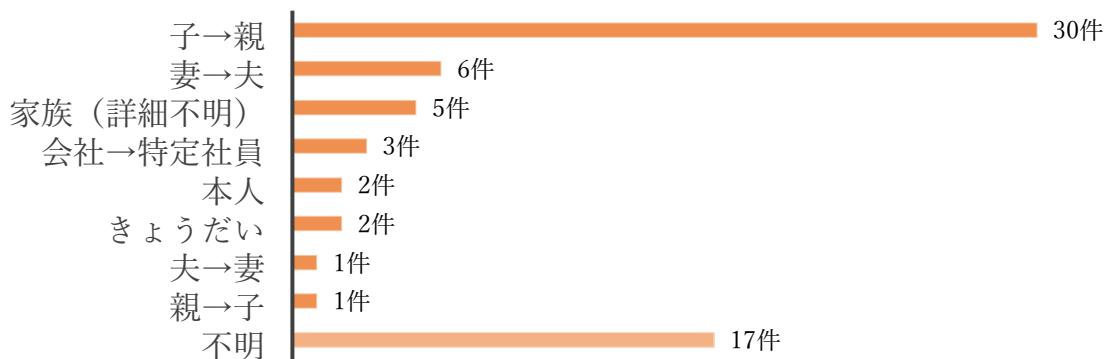
<https://alcohol-interlock.com/>

本サイトを開設してから、飲酒や飲酒運転の問題を抱えている家庭からの問い合わせや、装着が増えています。

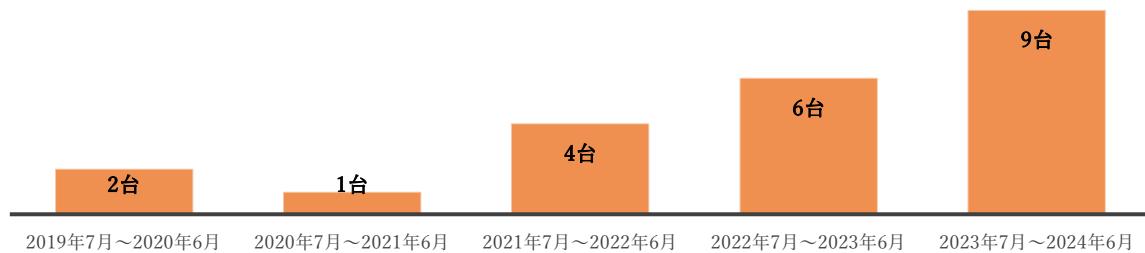
<飲酒運転をしてしまう家族に装着したいという家族・親族からの問合せ>



<問合せ家族、様々なケース>



<家族と本人が同意し、装着に至った件数>



9) アルコール依存症・飲酒運転研究者 有識者の方へ

2025年9月、アルコール関連問題学会で、個人がアルコール・インターロック装着した際の飲酒行動の調査データを公表しました。アルコール・インターロックはデジタルデータを保存していますので、飲酒運転行動のエビデンスとして有用であることを、調査データをもって訴えました。(別紙学会資料)

【別紙 学会発表資料】

2025年夏時点 36家族ユーザ

インターロック利用者	
トラック・バス	家族ユーザ
約3200台	36人
	22人

【別紙 学会発表資料】

1. インターロックデータ解析 (対象期間と方法)

対象人数 : 14人
対象期間 : 2024年1月1日～2025年8月5日

1 本人と家族に、事前同意 「データを見たい!」 「質問-インタビュー-OK?」	2 当日、アルコールセンサーを交換(校正)し つづ、アプリについて半年分のデータ(SD カード)に保存されているか確認	3 PCアプリで、本人とご家族に確認

【別紙 学会発表資料】

アルコールインターロック エビデンス

【別紙 学会発表資料】

アルコールロック回数とアルコールゼロ運転

10,941件
= 数値ゼロ (エンジンかかる)
1,340件

アルコール・インターロック装置のデジタルデータは、EBPMの基礎となります。法務省、警察庁、国交省におかれましては、ぜひエビデンスを用いて、アルコール・インターロックデータの法制化・社会実装をご検討ください。

本件に関する問い合わせ先：東海電子株式会社 営業企画部

東京都立川市曙町2-34-13 オリンピック第3ビル203

E-mail: kikaku@tokai-denshi.co.jp

<http://www.tokai-denshi.co.jp>

貨物自動車運送事業法

輸送安全規則 第7条 点呼 4項より

4 貨物自動車運送事業者は、アルコール検知器（呼氣に含まれるアルコールを検知する機器であつて、国土交通大臣が告示で定めるものをいう。以下同じ。）を営業所ごとに備え、常時有効に保持するとともに、前三項の規定により酒気帯びの有無について確認を行う場合には、運転者の状態を目視等で確認するほか、当該運転者の属する営業所に備えられたアルコール検知器を用いて行わなければならない。

貨物自動車運送事業輸送安全規則の 解釈及び運用について より

(6) 「アルコール検知器を用いて」とは、対面でなく電話その他の方法で点呼をする場合には、運転者に携帯型アルコール検知器を携行させ、**又は自動車に設置されているアルコール検知器を使用させ**、及び当該アルコール検知器の測定結果を 電話その他の方法（通信機能を有し、又は携帯電話等通信機器と接続するアルコール検知器を用いる場合にあっては、当該測定結果を営業所に電送させる方法を 含む）で報告せることにより行うものとする。営業所と車庫が離れている等の場合において、運行管理者等を車庫へ派遣して点呼を行う場合については、営業所の車庫に設置したアルコール検知器、運行管理者等が持参したアルコール検知器**又は自動車に設置されているアルコール検知器を使用することによるもの**とする。

国土交通省 「アルコール検知器義務化に関してよくある質問」より

Q7

アルコール検知器に、自動車に備えられたアルコール検知器（アルコールインターロック装置）は含まれますか。

A7

アルコールインターロック装置も含まれます。

Q8

車庫に駐車してあるアルコールインターロック装着車両を用いて、酒気帯びの確認をする場合、点呼はどのように行えばよいですか。

A8

運行管理者が車庫に出向き点呼を実施する必要があります。

バス/タクシー/トラック ドライバーの飲酒運転（業務中）

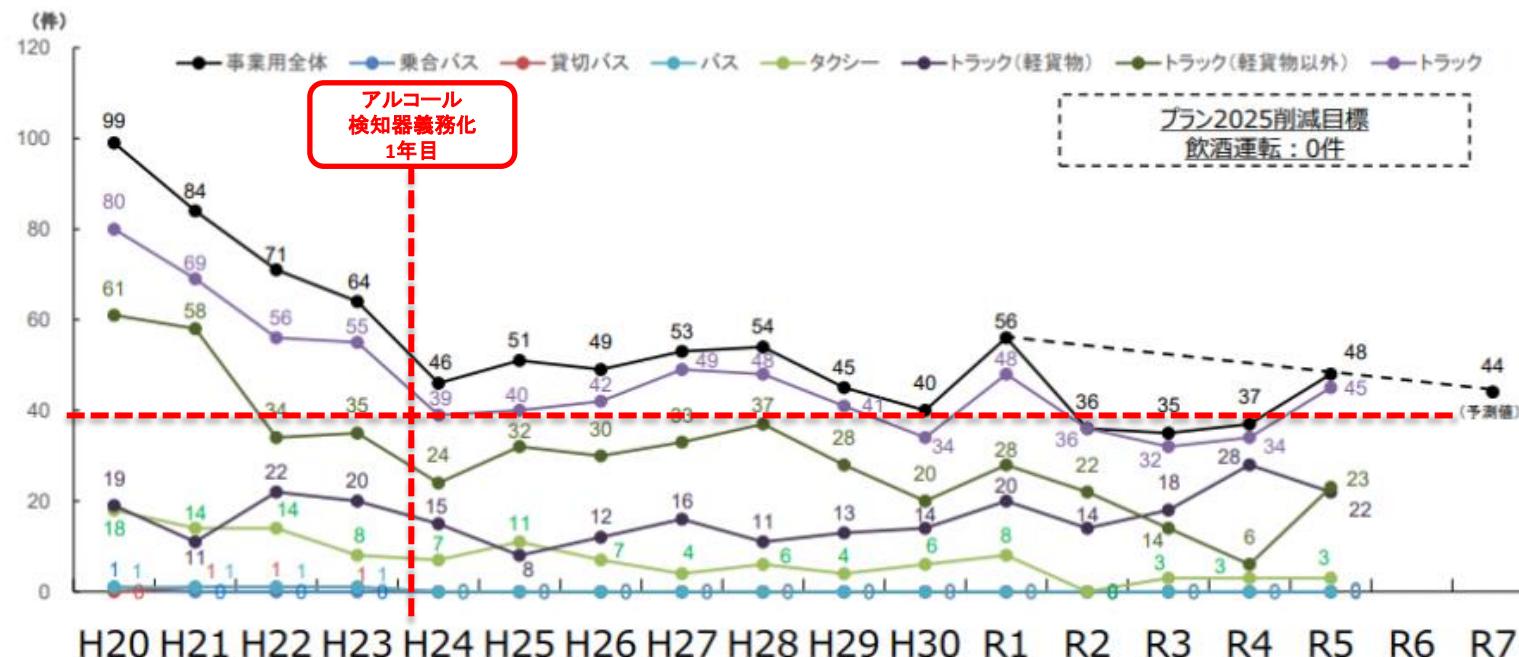
別紙3

事業用自動車による飲酒運転事故件数の推移



- 事業用自動車による令和5年の飲酒運転事故件数は48件で、令和4年と比較して11件増加。

飲酒運転による事業用自動車の交通事故



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

<https://www.mlit.go.jp/jidosha/content/001873159.pdf>

より、赤線は当社加工を加えた。

警察庁丁交企発第352号 丁交指発第226号

(3) アルコール検知器の性能等

ア 性能アルコール検知器については、府令第9条の10第6号の規定に基づき、国家公安委員会が定めるアルコール検知器を定める件（令和3年国家公安委員会告示第63号）により、呼気中のアルコールを検知し、その有無又はその濃度を警告音、警告灯、数値等により示す機能を有する機器であれば足りることとされている。また、**アルコール検知器には、アルコールを検知して、原動機を始動することができないようにする機能を有するものを含む。**

<https://www.npa.go.jp/laws/notification/koutuu/kouki/20241227ankankatyoutuutatu.pdf>

飲酒運転抑止力 比較表

(アルコール検知器タイプごと)

検知器タイプ	形状	記録保存	クルマを止める機能	飲酒抑止力
簡易型	ハンディ型 小型	無し	×	低
記録型	据え置き型	PC・電子データ	×	普通
記録型	据え置き型	感熱ロール紙	×	普通
スマホ接続型	小型・ 持ち運び型	クラウドサーバー	×	普通
アルコール インターロック	車両装着型	PC・電子データ	○	高

2025年夏時点 36家族ユーザ

インターロック利用者	
トラック・バス	家族ユーザ
約3200台	36人
	22人

14人
インター
ロックログ

1. インターロックデータ解析（対象期間と方法）

対象人数 : 14人

対象期間 : 2024年1月1日～2025年8月5日

1

本人と家族に、事前同意
「データを見たい？」
「訪問インタビューOK？」



2

当日、アルコールセンサーを交換(校正)し
つつ、アプリをつかって半年分のデータ(SD
カードに保存されている)を確認



3

PCアプリで、本人とご家族に確認。



14名 × 平均11ヶ月 = 6万ログデータ



14人	
福岡県	3人
沖縄県	2人
長崎県	1人
福島県	1人
埼玉県	1人
群馬県	1人
島根県	1人
山口県	1人
兵庫県	1人
大阪府	1人
大分県	1人

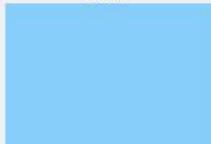
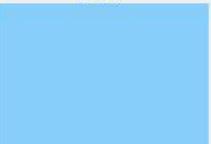
61,805 ログデータ		
装着者	使用期間	ログ数
Aさん	18ヶ月	13,332
Bさん	17ヶ月	6,835
Cさん	16ヶ月	14,880
Dさん	16ヶ月	7,346
Eさん	14ヶ月	2,365
Fさん	13ヶ月	1,909
Gさん	13ヶ月	1,856
Hさん	12ヶ月	143
Iさん	8ヶ月	772
Jさん	8ヶ月	766
Kさん	6ヶ月	8,222
Lさん	6ヶ月	1,886
Mさん	3ヶ月	780
Nさん	3ヶ月	713

【別紙 学会発表資料】

装着者	運転意思		運転 (正常系)					運転 (NG系)				
	測定開始	測定失敗	測定結果(OK)	エンジン始動	運転中撮影	測定催促時間開始	測定催促時間停止	オーバーライド	オーバーライド終了	不正始動	(不正始動)運転中撮影	不正走行終了
Cさん	1307	6	1296	2106	3640			7	19	18	17	17
Aさん	2717	10	2671			2672	2515	51	32	32		
Kさん	201	9	190	1	7393			23	24	22		
Dさん	1927	37	1800	1				77	4	4		
Bさん	1864	21	1549					305				
Eさん	935	534	224					178	4	4		
Fさん			871		955			56			9	9
Lさん	510	74	407					27	13	13		
Gさん			467		1186			83			40	40
Mさん	207	28	148						2	2		
Iさん			475		1			296				
Jさん			533					233				
Nさん	174	1	170					1	12	12		
Hさん			140					3				

アルコールインターロック エビデンス

写真一括確認画面

126  2025/01/12 12:13:44 運転中撮影	126  2025/01/12 12:24:11 運転中撮影	126  2025/01/12 12:34:11 運転中撮影	126  2025/01/12 12:44:11 運転中撮影	126  2025/01/12 12:54:11 運転中撮影	126  2025/01/12 13:04:11 運転中撮影	126  2025/01/12 13:14:11 運転中撮影	126  2025/01/12 14:50:53 運転中撮影
126  2025/01/12 15:21:21 運転中撮影	127  2025/01/12 16:13:02 運転中撮影	127  2025/01/12 16:23:02 運転中撮影	127  2025/01/12 16:33:02 運転中撮影	127  2025/01/12 16:44:45 運転中撮影	127  2025/01/12 16:59:38 運転中撮影	127  2025/01/12 18:37:14 測定結果(NG)	127  2025/01/12 18:39:56 測定結果(NG)
127  2025/01/12 18:41:22 測定結果(NG)	127  2025/01/12 18:43:54 測定結果(NG)	127  2025/01/12 18:45:27 測定結果(NG)	128  2025/01/12 18:56:46 測定結果(NG)	128  2025/01/12 18:58:10 測定結果(NG)	128  2025/01/12 19:01:06 測定結果(NG)	128  2025/01/12 19:10:29 測定結果(NG)	128  2025/01/12 19:13:54 測定結果(NG)
128  2025/01/12 19:15:24 測定結果(NG)	128  2025/01/12 19:20:39 測定結果(OK)	128  2025/01/12 19:27:59 運転中撮影	128  2025/01/12 19:38:35 運転中撮影	128  2025/01/12 19:48:35 運転中撮影	129  2025/01/13 09:07:31 測定結果(NG)		

前へ 後へ 43/60 閉じる

アルコールロック回数とアルコールゼロ運転

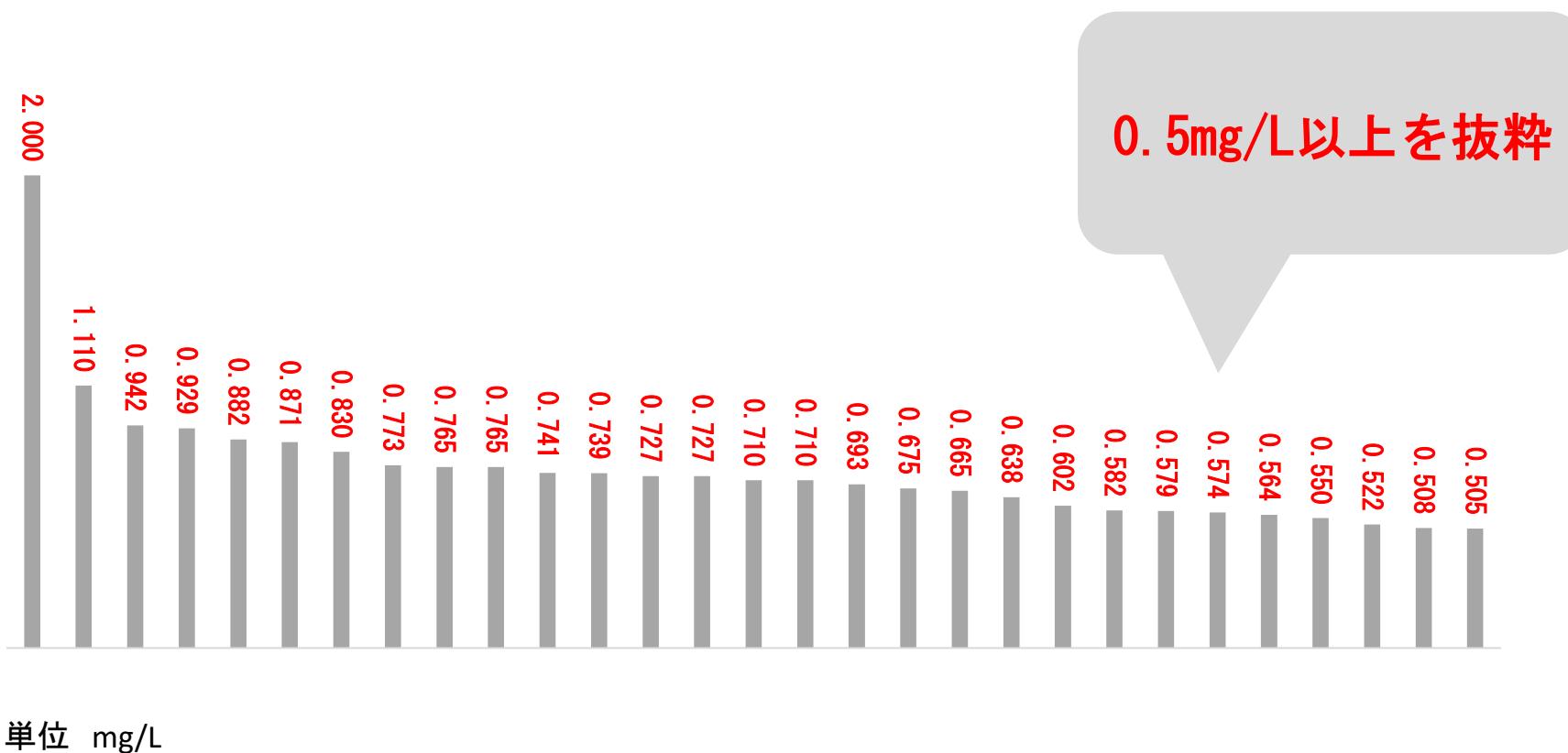
10,941件

- 数値ゼロ（エンジンかかる）

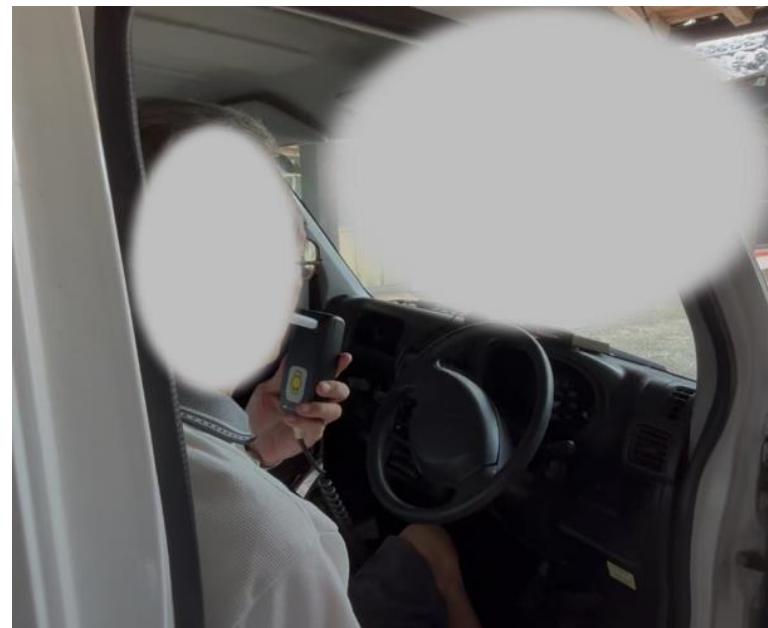
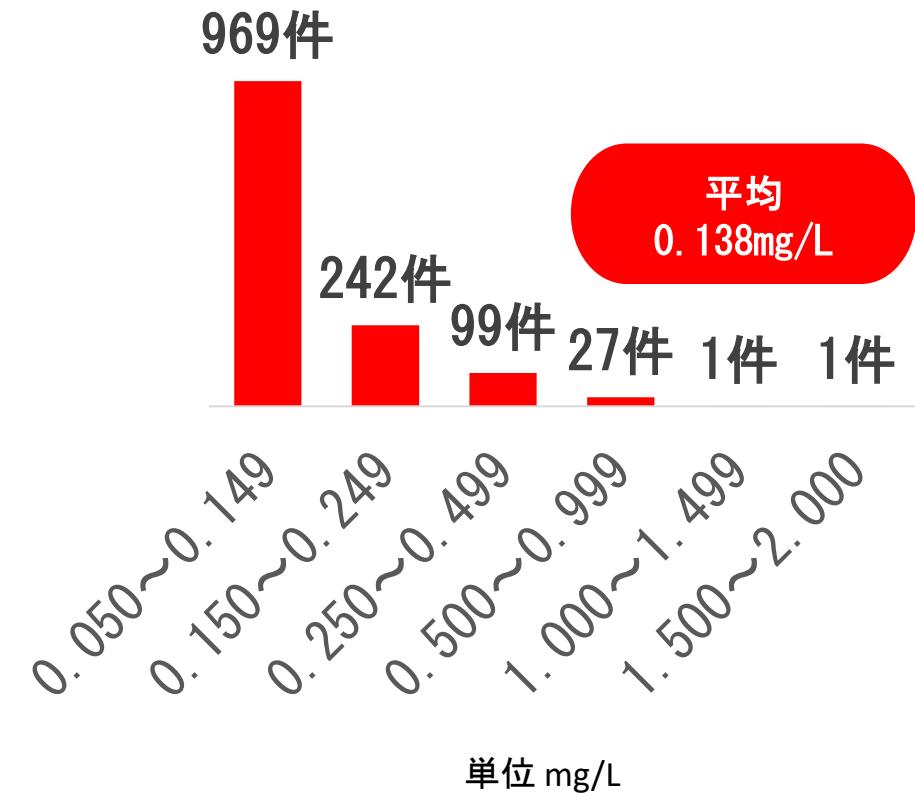
1,340件



飲酒運転行動を、濃度から類推する



運転席でのアルコール濃度分布



【別紙 学会発表資料】

装着者	運転意思		運転 (正常系)					運転 (NG系)			不正走行終了 (不正始動) 運転中撮影
	測定開始	測定失敗	測定結果(OK)	エンジン始動	運転中撮影	測定催促時間開始	測定催促時間停止	測定結果(NG)	オーバーライド	オーバーライド 終了	
Cさん	1307	6	1296	2106	3640			7	19	18	17
Aさん	0717	10	0671	0670	0515			51	32	32	
Kさん											
Dさん											
Bさん											
Eさん	935	534	224					178	4	4	
Fさん			871	955				56			9
Lさん	510	74	407					27	13	13	
Gさん			467	1186				83			40
Mさん	207	28	148						2	2	
Iさん			475	1				296			
Jさん			533					233			
Nさん	174	1	170					1	12	12	
Hさん			140					3			

不正始動、3名 合計66回
(車検や家族の解除も含まれる)